

3 - 13 関東地域における三成分ひずみ計及び I B O S による最近の観測結果 (1997年4月から10月まで)

Results of Continuous Observation by Three-Component Strainmeters and IBOSes in Kanto District(from April to October,1997)

防災科学技術研究所

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

前報¹⁾に引き続き,最近の観測結果について報告する。

第1図及び第2図は,八郷1号機及び2号機による,1997年4月からの最近7か月間のひずみ変化を表したものである。第3図は甲府による同様のものである。前回と同様に今回もひずみ変化の観測結果を直接表示している。E1D,E2D,E3D及びDIL,SMAXの意味については以前の会報²⁾を参照してほしい。

八郷1,2号機においては,今までと同様に,ほぼ一様な収縮が継続している。しかし,4月下旬からE1DとE3Dが増加に転じ,E2Dが逆傾向を示し,全体としては,DILが増加する傾向を示している。そして5月になると再び収縮の傾向に復帰している。このような現象は昨年も見られたものであるが,4月上旬の大雨量が時間遅れで効いているとも推定される。

甲府では,E1Dが例年になく大きな収縮を示しているが,原因はわからない。

第4図,第5図及び第6図は,玄倉,平塚及び真鶴のIBOSによる10月までの7か月間の観測結果である。降雨の影響が玄倉において著しいのは,いつものことである。

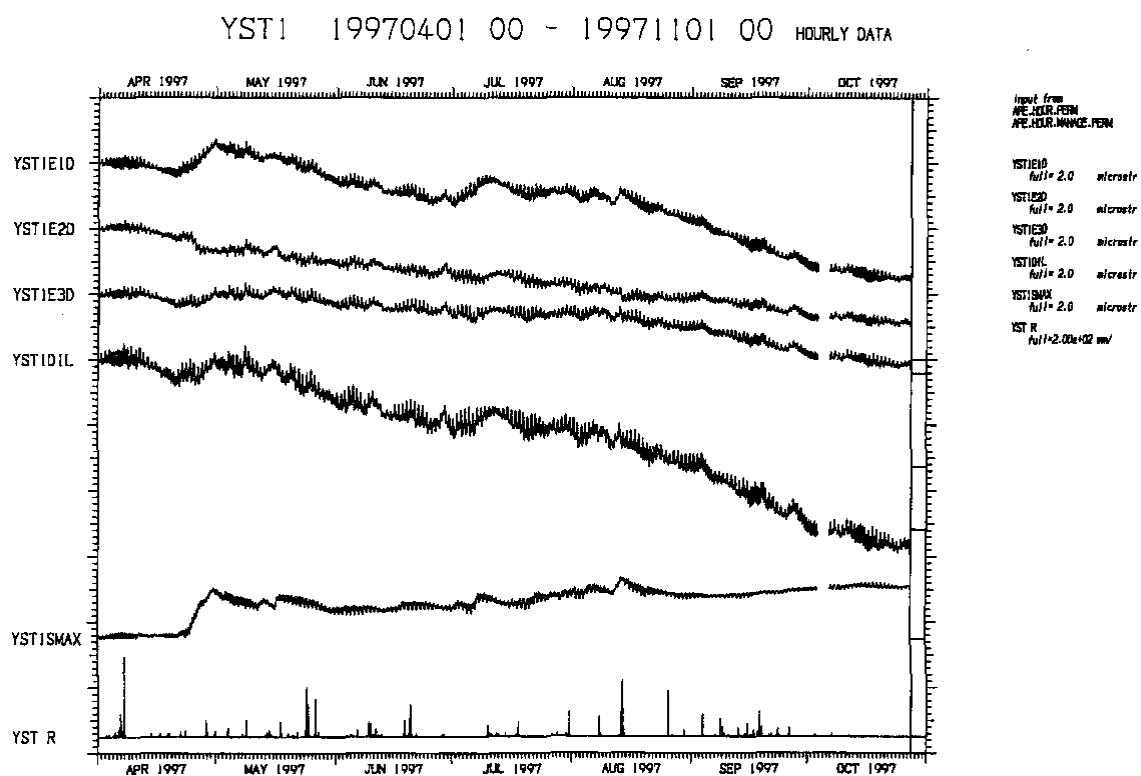
平塚において,ひずみと傾斜が4月と6月に大きな変化を示しているのは,降雨によるものである。八郷の場合とは異なり,降雨の影響は時間遅れ無しに,直ちに現れている。

真鶴ではひずみ計が,ほぼ一様かつ他に比して大きな圧縮を受けてきていることは今までどおりである。ただし,収縮の速さは,時とともに確実に減少してきている。なお,不規則に見られる傾斜のステップは,機器の不具合によるものである。

(坂田正治)

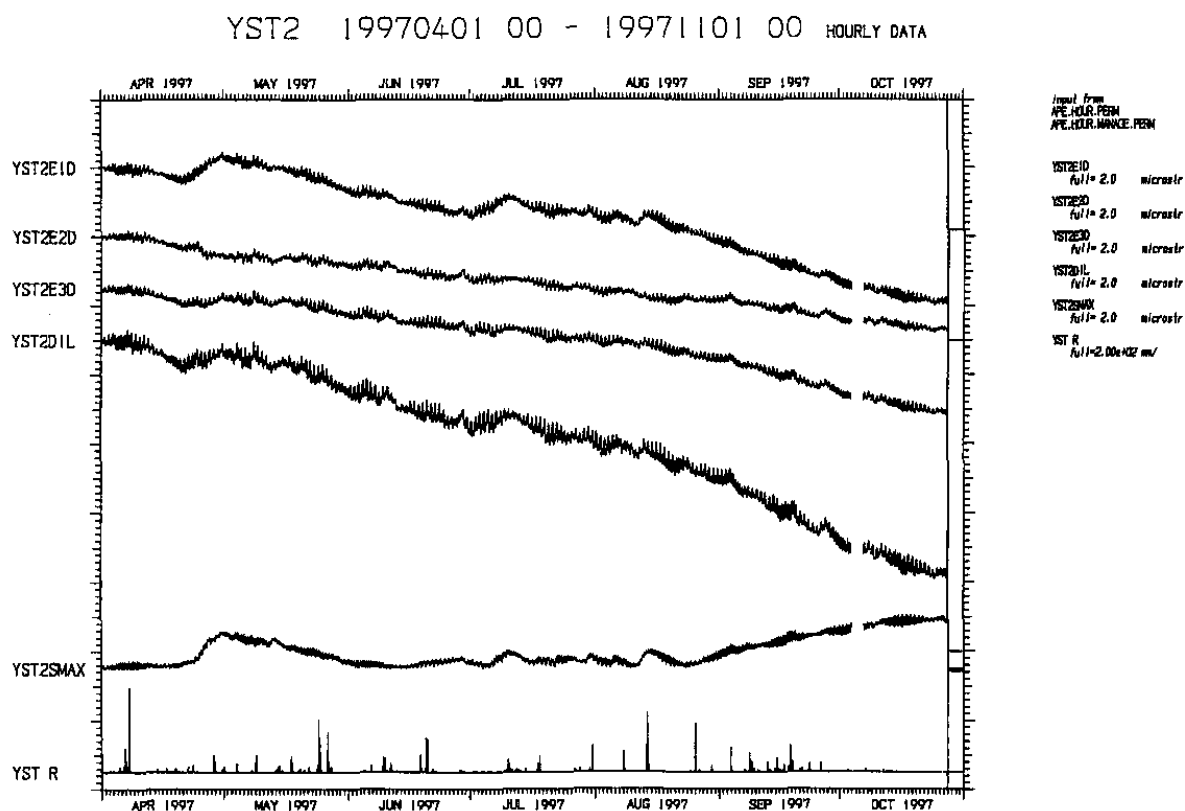
参 考 文 献

- 1) 防災科学技術研究所:関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果(1996年10月から1997年4月まで),連絡会報,58(1997),182-191.
- 2) 防災科学技術研究所:関東地域における三成分ひずみ計及びIBOSによる最近の観測結果(1994年3月まで),連絡会報,52(1994),199-206.



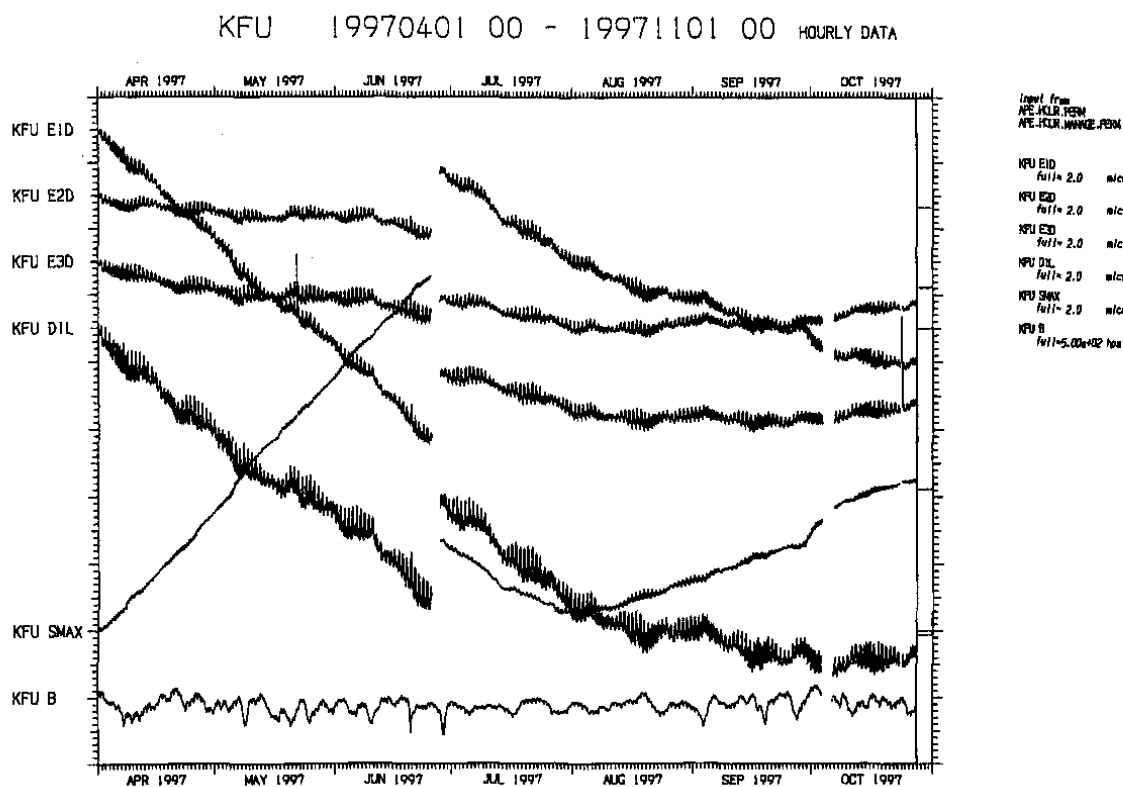
第 1 図 八郷の三成分ひずみ計 1 号機による連続観測結果 (1997 年 4 月 ~ 10 月)

Fig.1 Record of continuous observation by No1 three-component strainmeter at Yasato, E1D,E2D,E3D : linear strains along N00E,N60E,N120E, DIL:dilatation, SMAX:maximum shear, R:precipitation.



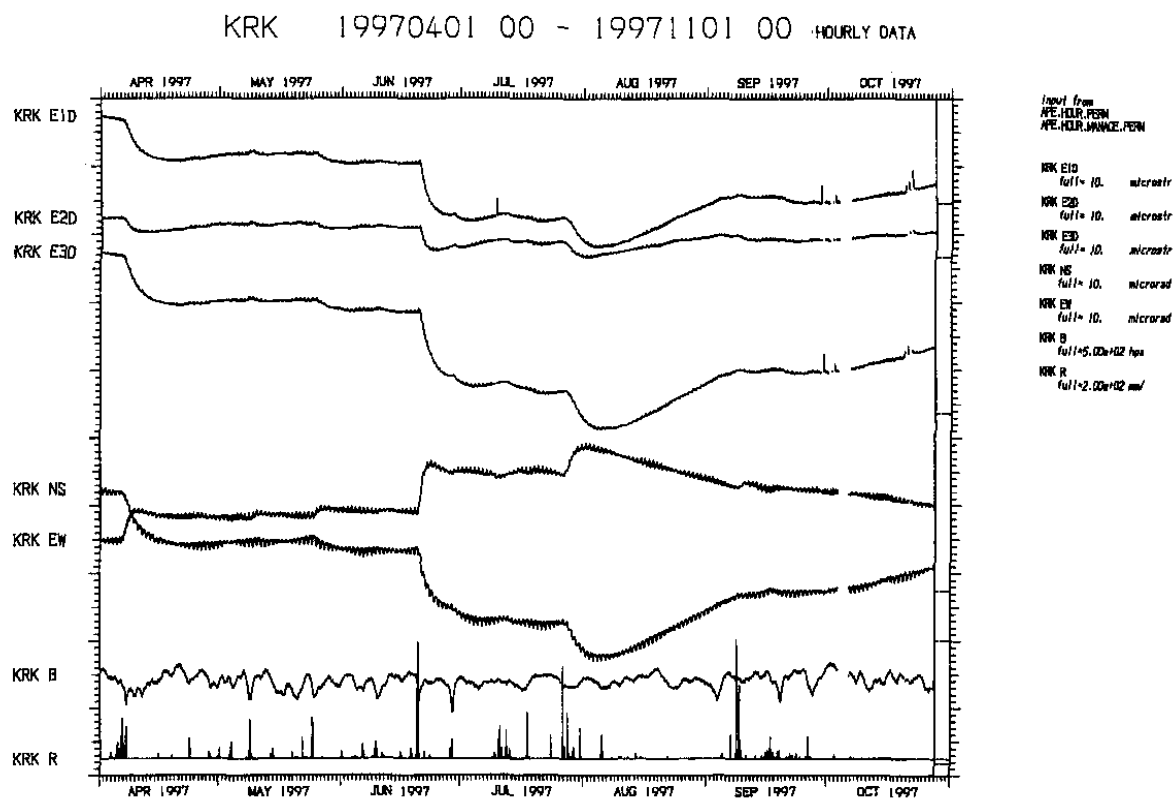
第 2 図 八郷の三成分ひずみ計 2 号機による連続観測結果 (1997 年 4 月 ~ 10 月)

Fig.2 Record of continuous observation by No2 three-component strainmeter at Yasato.



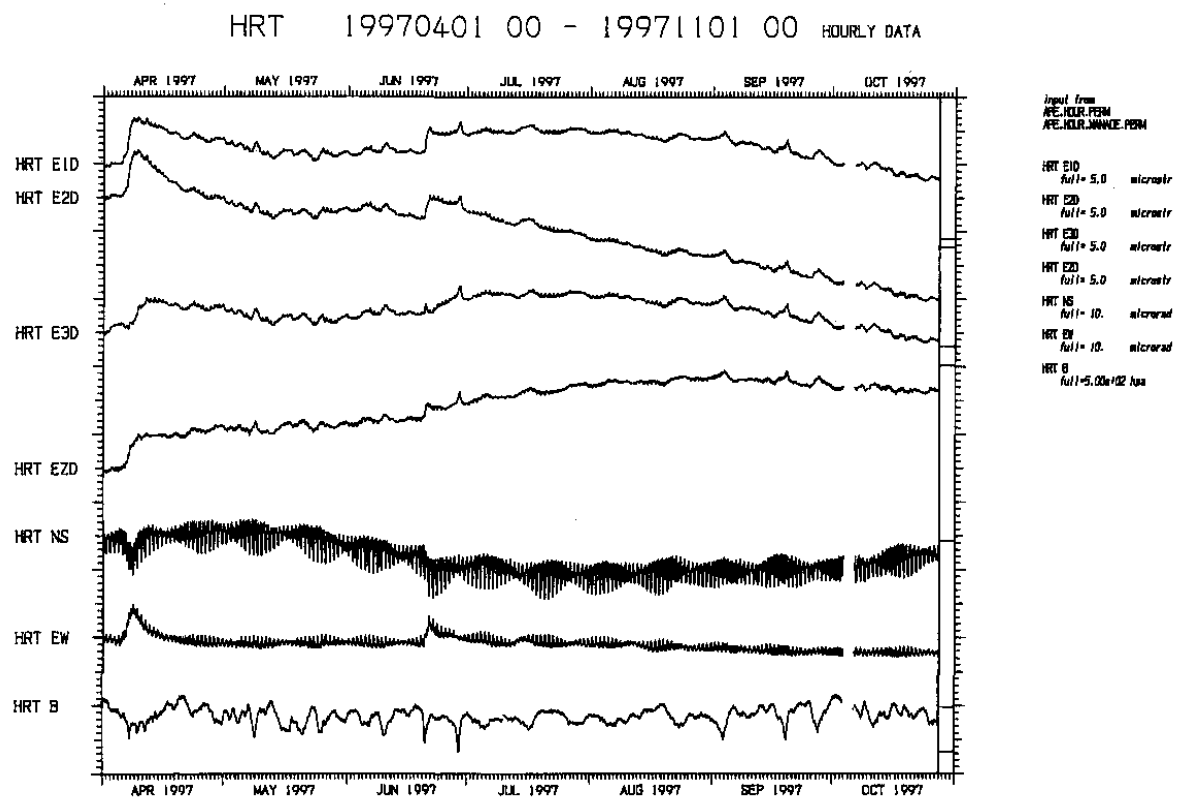
第3図 甲府の三成分ひずみ計による連続観測結果 (1997年4月~10月)

Fig.3 Record of continuous observation by the three-component strainmeter at Kofu, B:atmospheric pressure.



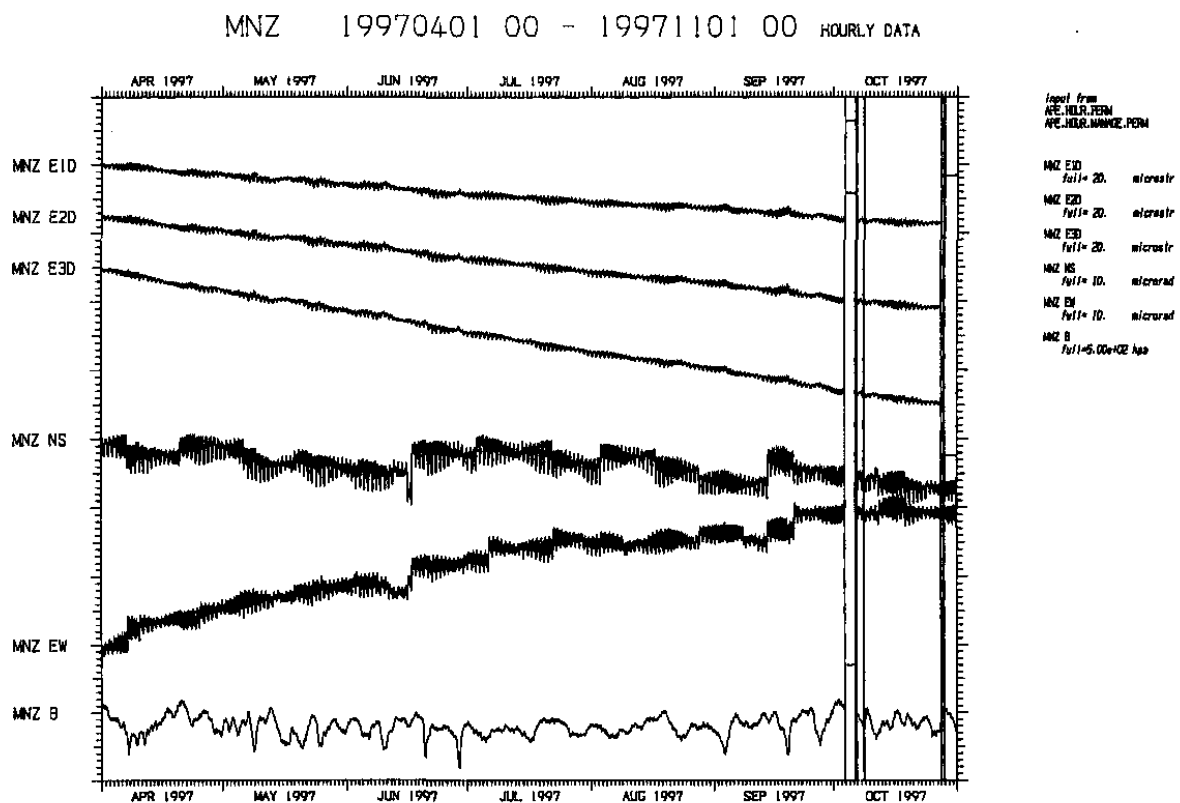
第4図 玄倉のIBOSによる連続観測結果 (1997年4月~10月)

Fig.4 Record of continuous observation by IBOS at Kurokura, NS, EW: tilt components.



第5図 平塚のIBOSによる連続観測結果(1997年4月~10月)

Fig.5 Record of continuous observation by IBOS at Hiratsuka,EZD:vertical strain detected by axial strainmeter.



第6図 真鶴のIBOSによる連続観測結果(1997年4月~10月)

Fig.6 Record of continuous observation by IBOS at Manazuru.